

3. 効果検証

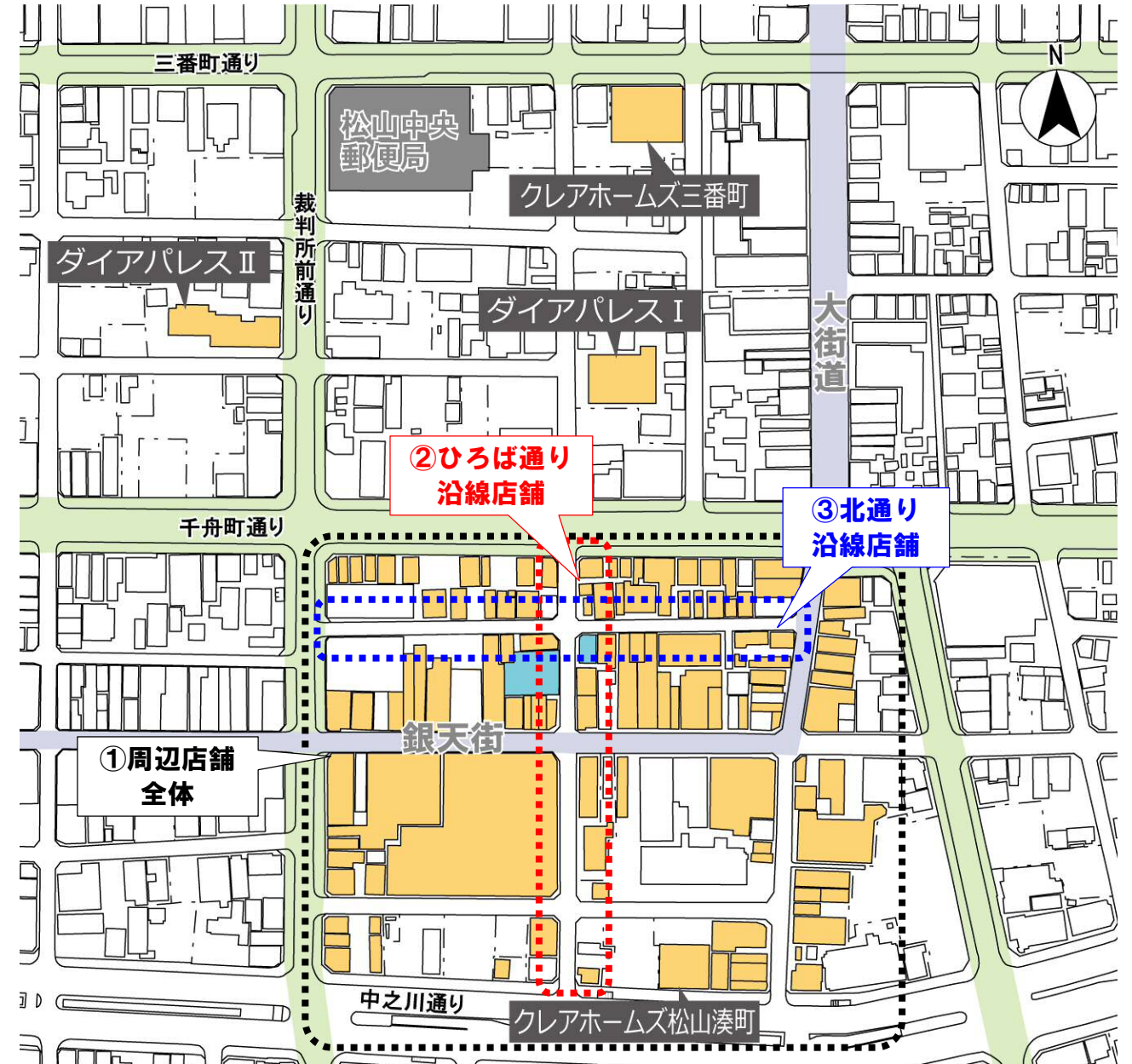
3.1 社会実験期間中に実施した効果検証のための調査




表 各種実施調査の一覧

調査名	種別	調査頻度	内容	備考
①ひろば利用者カウント調査	カウント	隔週調査 平日・休日（月4日間）	・時間帯別 ・年齢層別	H27.1月～
②多目的スペース利用者 カウント調査	〃	毎日調査	・日別 ・活動別	H26.11月～
③ひろば利用者アンケート調査	アンケート	隔週調査 平日・休日（月4日間）	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H27.1月～
④多目的スペース利用者 アンケート調査	〃	隔週調査 平日・休日（月4日間）	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H27.1月～
⑤占用使用者アンケート調査	〃	適宜調査	・使用目的・理由 ・満足度 ・効果 等	H27.1月～
⑥街頭アンケート調査	〃	定期	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H26.12 実施 H27.8 実施 H28.2 実施
⑦企業アンケート調査	〃	必要に応じて調査	・認知度 ・参加意向 ・CSR活動	H27.3月実施
⑧周辺住民・店舗アンケート調査	〃	定期	・認知度 ・周辺環境変化 ・継続意向 等	H27.3月実施 H27.8月実施 H28.2 実施
⑨ひろば前通行量調査	カウント	定期	・12時～16時 （4時間） ・30分単位	H27.6月実施 H27.7月実施 H27.9月実施 H27.12月実施 H28.2月実施
⑩多目的スペース利用者 カウント調査（追加調査）	カウント	H27.9.8～H27.9.14 （1週間）	活動別のカウン トのうち「休憩」 を細分化し調査	
⑪利用者インタビュー調査	インタビュー	H27.7.25(土) H27.8.1(土)	継続意向	土曜夜市に 実施

赤字：前回専門部会以降に実施した調査

【周辺住民・店舗アンケート対象】



- ※1) 周辺店舗の分析区分
- ①周辺店舗全体（右図黒破線（）のエリア）
 - ・全対象店舗【H27.3調査:184店舗、H27.9調査:166店舗、H28.2調査:155店舗】
 - ②ひろば通り沿線店舗（右図赤破線（）のエリア）
 - ・UDCM・ひろばの前面道路に面した店舗【H27.3:14店舗、H27.9:14店舗、H28.2調査:13店舗】
 - ③北通り沿線店舗（右図青破線（）のエリア）
 - ・UDCM・ひろば北側の路地に面した店舗【H27.3:30店舗、H27.9:24店舗、H28.2調査:19店舗】

↓
主な調査結果について次頁以降にご紹介

3. 効果検証

3.2 ニーズ把握（UDCM・みんなのひろばに対する意向）

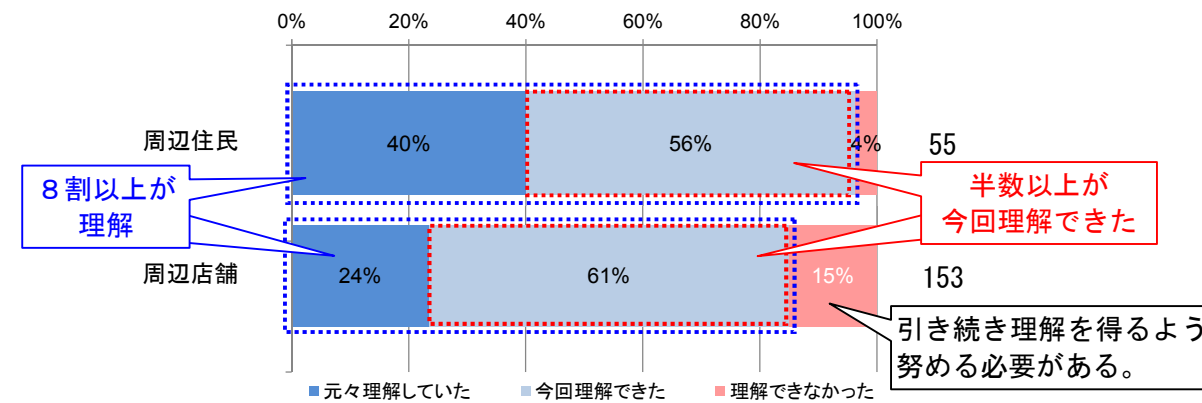
資料／周辺住民アンケート調査（H27.3、H27.9、H28.2実施）

資料／周辺店舗アンケート調査（H27.3、H27.9、H28.2実施）

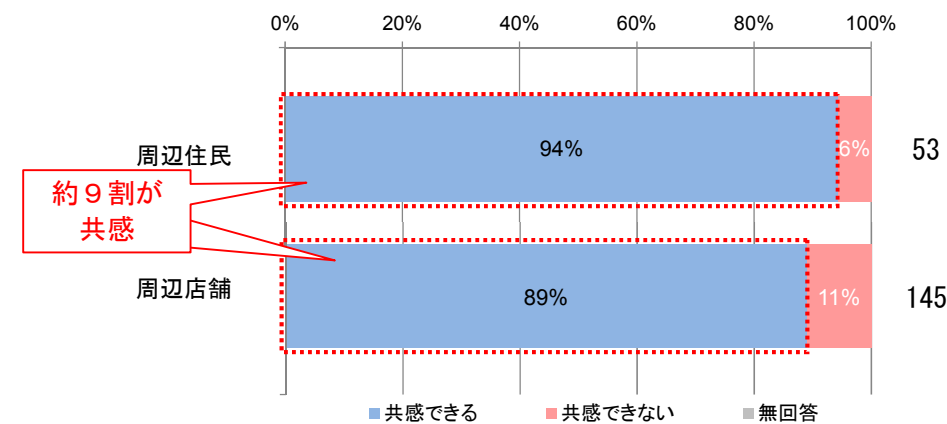
(1) 目的・活動に対する理解・共感【前回意見に対する対応】

・UDCMの目的や活動の主旨が伝わっていないという課題に対して、パンフレットを作成し、広報するとともに、アンケート調査に同封・配布することで理解や意向について調査を実施した。

①UDCMの目的・役割についての理解



②UDCMの目的・役割「交わる」「知る」「創る」「学ぶ」についての共感



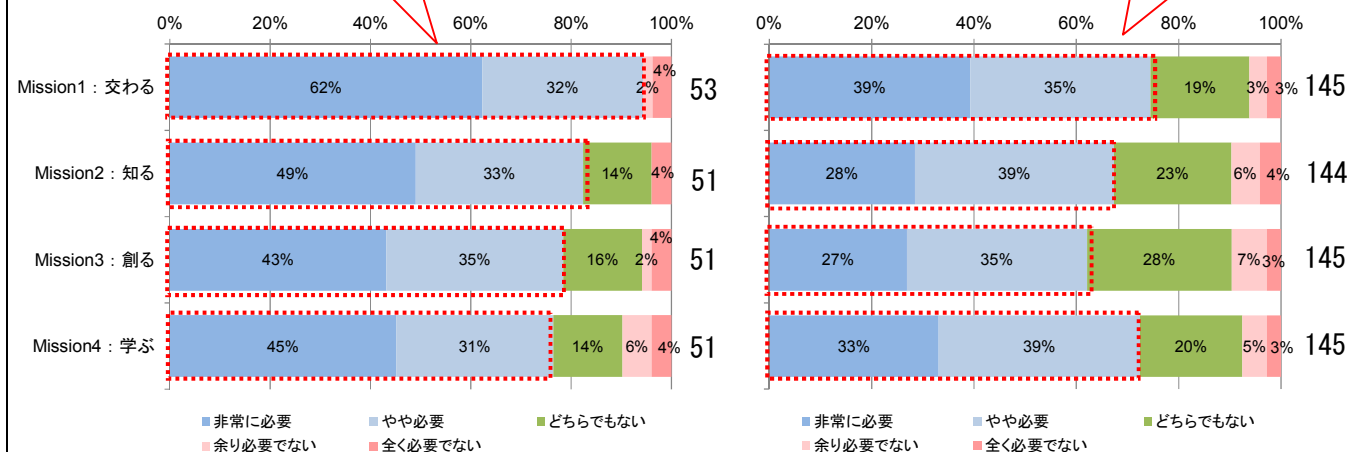
③4つのプロジェクトの必要性について（mission1～4については、別紙パンフレット参照）

（周辺住民）

多くの住民が共感

（周辺店舗）

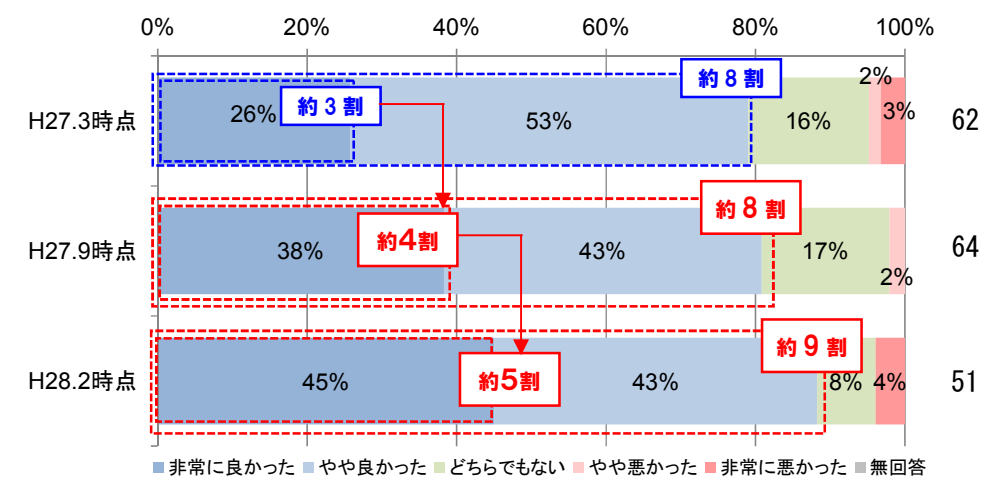
周辺店舗からの共感も多い



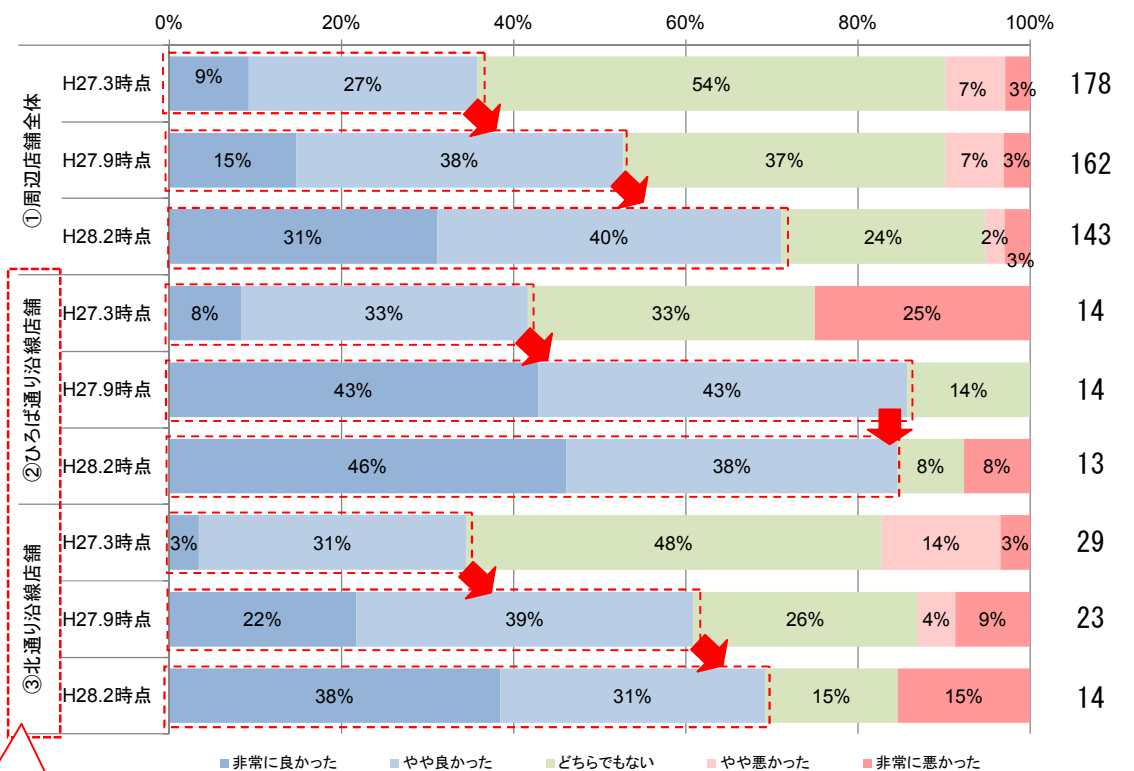
(2) UDCM・みんなのひろばが出来たことに対する意見

・UDCM・みんなのひろばが出来たことに対しては、住民からの好意的意見は非常に多く、増加の傾向にある。また、周辺店舗からも近隣店舗に対して、コミュニケーション活動やUDCMパンフ（説明資料版）の同封等によって、好意的な意見が増えた。

①周辺住民



②周辺店舗



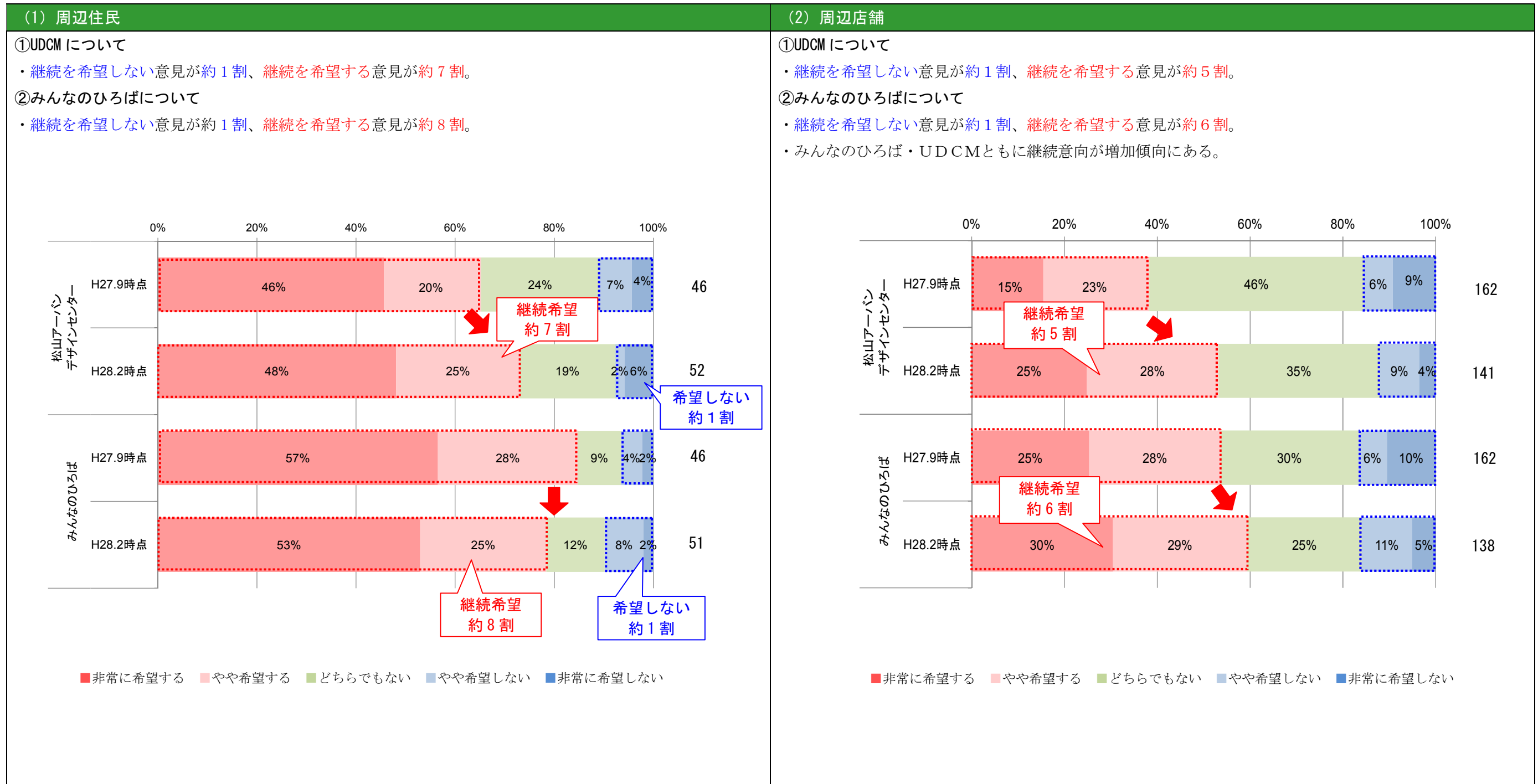
ご近所紹介マップ等でコミュニケーションを図ったエリア

3. 効果検証

3.3 ニーズ把握（UDCM・みんなのひろばに対する継続意向）

資料／周辺住民アンケート調査（H27.9、H28.2実施）

資料／周辺店舗アンケート調査（H27.9、H28.2実施）



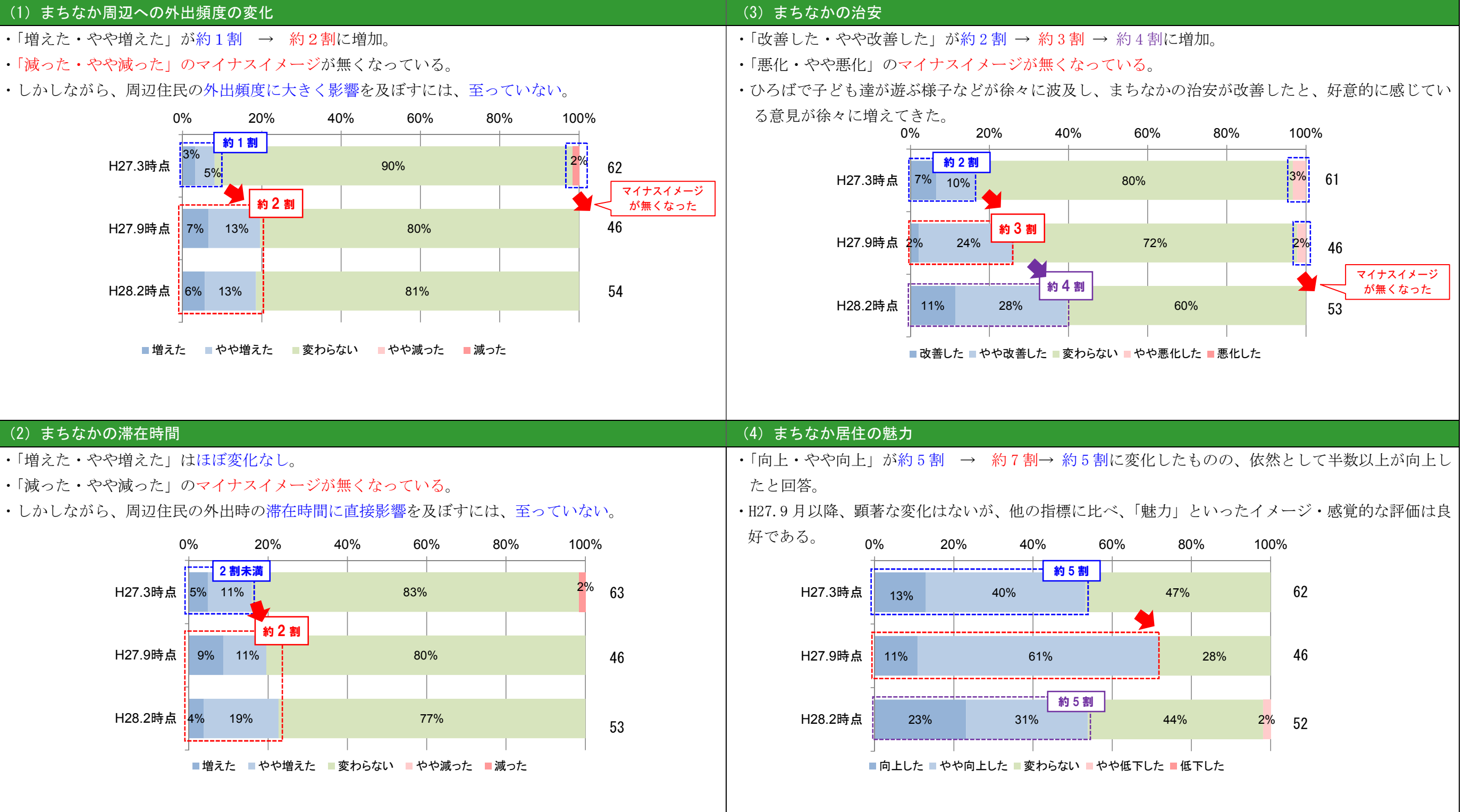
（総括）・まちなか周辺住民や店舗からのUDCM・みんなのひろばに対する意見は、認知や理解に伴い徐々に好意的なものとなってきているが、一方で「駐車場が良かった」などの理由により好意的でない意見も少数は存在する。

・わかりやすいパンフレットによる目的・趣旨の丁寧な説明が、理解や共感を広げる効果があるため、引き続き、情報共有や様々な取り組みでの連携などに発展させていく必要がある。

3. 効果検証

3.4 まちなか住環境への影響

資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H27.9、H28.2実施)



(総括) ・社会実験を通じて、まちなかに住む市民にとって、まちなかの治安や魅力といったイメージの向上に対する効果は徐々に発現してきている。
 ・一方で、外出頻度やまちなかでの滞在頻度については、まちなかに住む市民の行動変化に大きな影響を及ぼすまでには至っていない。
 (ただし、街なか居住者の約2割、一般利用者の約3割が来街頻度・滞在時間が「増えた」と回答している。)

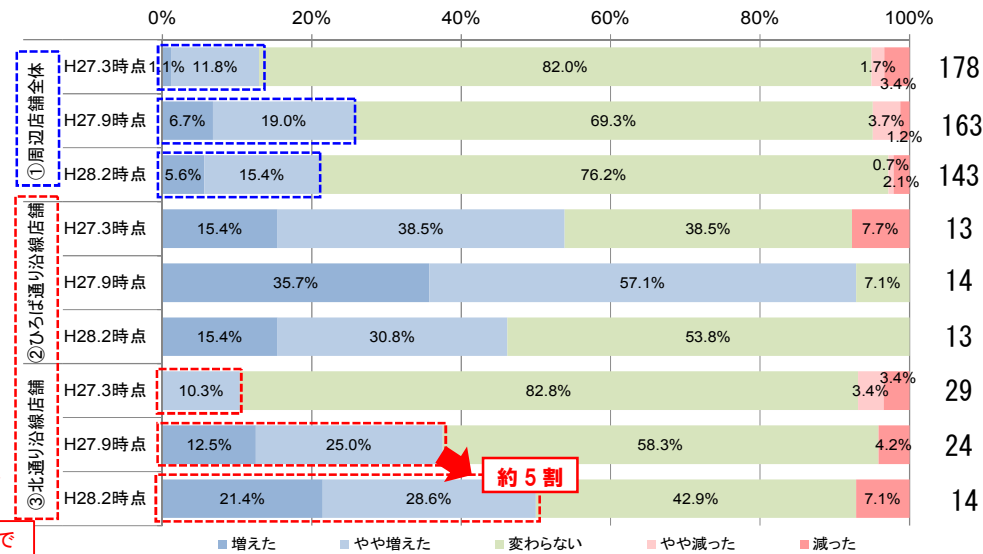
3. 効果検証

3.5 周辺店舗への影響（前回の調査以降の変化を回答）

資料／周辺店舗アンケート調査（H27.3、H27.9、H28.2実施）

(1) 人通りの変化

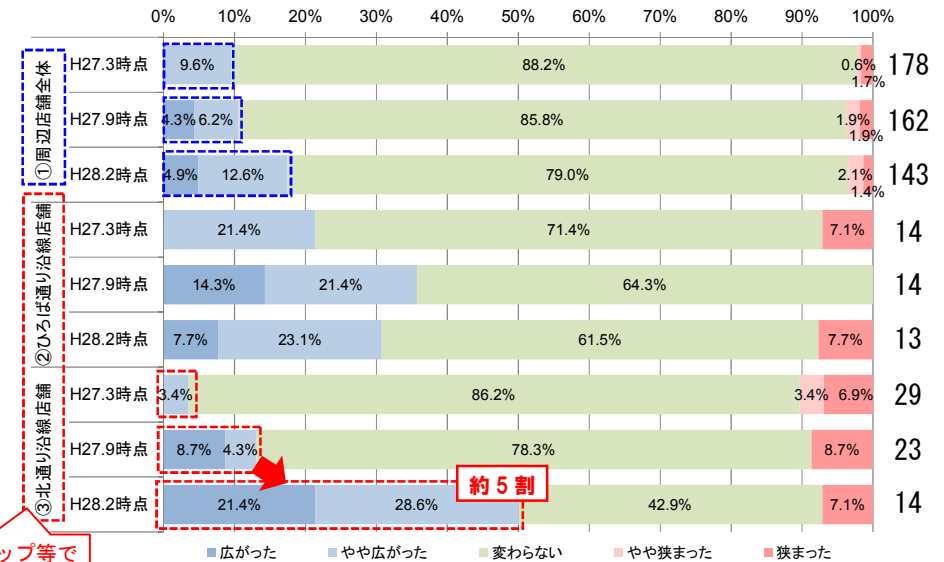
- ・時間の経過と共に、「人通りの増加」が顕在化。
- ・スプリングフェスタや土曜夜市などでは、多くの利用者でひろば・UDCMが賑わったこともあり、特に近隣店舗では、人通りの増加が顕著であるが、まちなかに広く影響を及ぼすには至っていない。



ご近所紹介マップ等でコミュニケーション

(3) 客層の変化

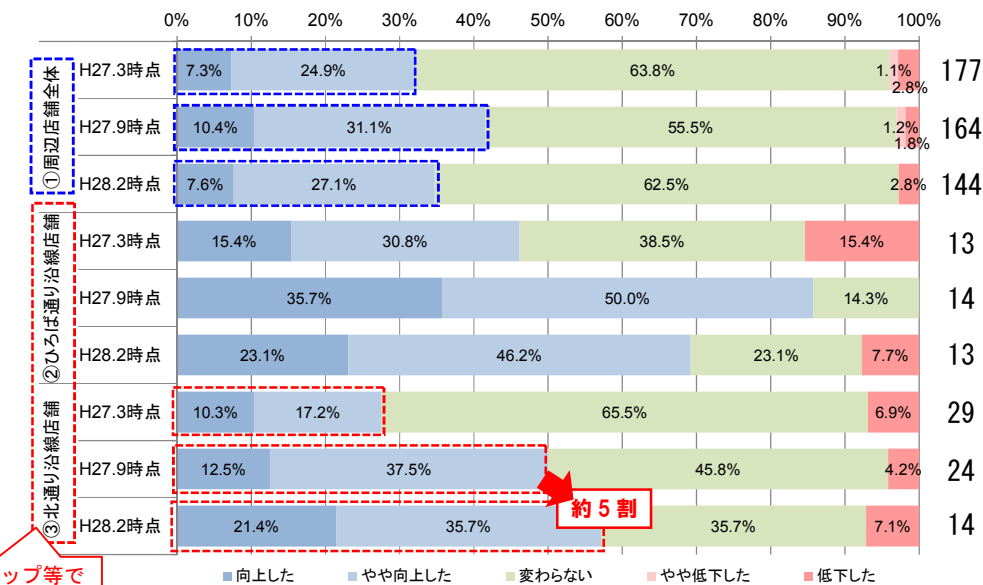
- ・ひろば・UDCM近隣店舗においては、客層が「広がった・やや広がった」が増加。
- ・一方でまちなか全体にはプラスのイメージが若干増加しているものの、客層は「変わらない」とする意見が8割となっており、広く影響を及ぼすには至っていない。



ご近所紹介マップ等でコミュニケーション

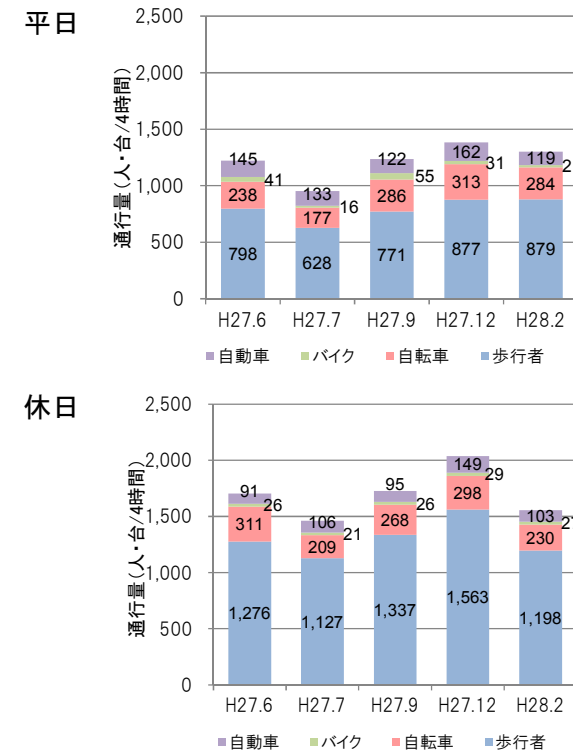
(2) 地域のイメージ変化

- ・時間の経過と共に、「地域イメージの向上」を実感し、UDCM近隣では、行事や周辺マップ作成などのコミュニケーション活動を通じて、当初のマイナスイメージの改善にも繋がった。
- ・一方で、まちなか全体へ大きく影響を及ぼすには至っていない。



ご近所紹介マップ等でコミュニケーション

(3) 前面道路の通行量



【調査日時】

- ・H27.6月、7月、9月、12月及びH28.2の5か月
- ・第3木曜日・日曜日の2日間調査
- ・12時～16時（4時間調査）
- ・30分単位でデータを実測し、集計。



（総括）・社会実験を通じて、UDCM近隣については、人通りの増加やイメージの向上などの効果は徐々に発現してきている。

・一方で、それらがまちなか周辺の店舗に広く大きな影響を及ぼすにはまだ至っていないことから、引き続き検証をしていく必要がある。

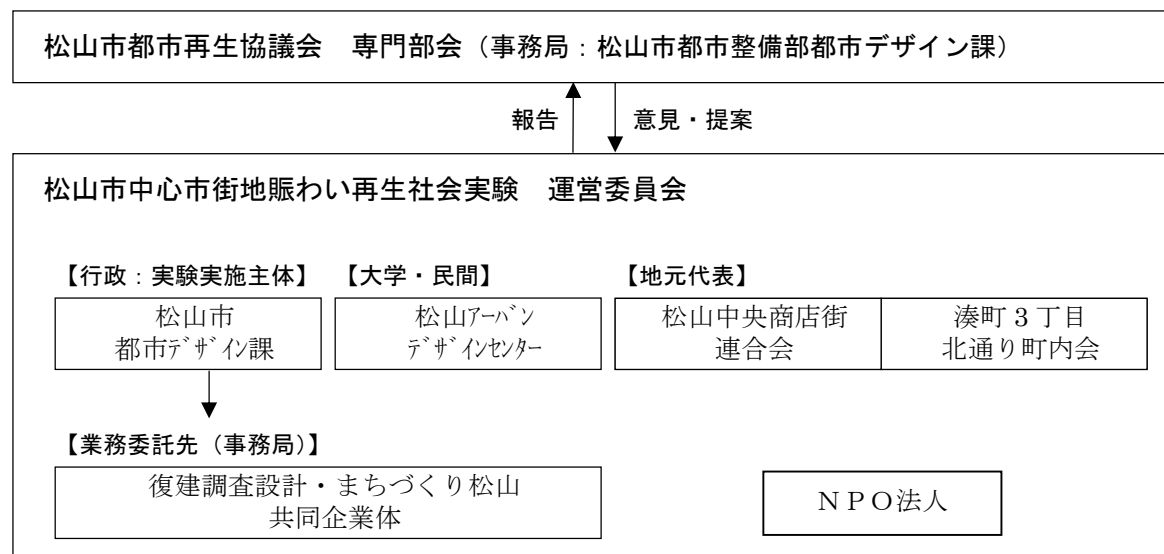
3. 効果検証

3.6 施設の管理体制の検証

・毎月1回、運営・管理に関する会議を開催。

運営委員会	開催日時	議題	
		[共通事項]	[個別審議事項]
第1回～第3回	H26/12/5(金) H27/1/9(金) H27/2/6(金)	第3回の専門部会にて提示済み	・利用状況報告 ・ひろばの占有使用申請の審査 ・アンケート結果を踏まえた検討課題等
第4回～第6回	H27/3/6(金) H27/4/9(木) H27/5/11(月)	第4回の専門部会にて提示済み	・利用状況報告 ・ひろばの占有使用申請の審査 ・管理・運営上の審議事項等
第7回～第11回	H27/6/12(金) H27/7/10(金) H27/8/10(月) H27/9/9(水) H27/10/20(火)	第5回の専門部会にて提示済み	・利用状況報告 ・ひろばの占有使用申請の審査 ・管理・運営上の審議事項 利用時間の延長、基準ルールについて
第12回	H27/11/26(木)	(1)利用状況報告 (2)ひろば占有使用申請の審査	(3)クリスマスイベント企画 (4)ライブラリーの設置について
第13回	H27/12/22(火)		(3)ひろばのはたけ活動報告 (4)フォーラム等お知らせ
第14回	H28/1/25(月)		(3)ライブラリーの運営状況 (4)夜間開放について報告 (5)ブックマルシェの審議
第15回	H28/2/16(火)		(3)土日祝日の利用時間の変更について (4)基準・ルールに関する審議事項
第16回	H28/3/予定		(3)基準・ルールに関する次年度方針

(参考)



【運営委員会の役割・機能】

- ・定期的（月1回程度）な運営状況の連絡会議
 - ・運営上の課題に対する改善・見直し対応についての検討（報告）
 - ・利用ルールの見直し
 - ・みんなのひろば占有使用（活動内容）に対する審査
- ※アーバンデザインセンター1Fを使用する、近隣への影響が少ないと判断される使用については、松山市及びアーバンデザインセンター等の事務局にて適宜判断する。

3.7 夜間・早朝開放の検証

・平日20時以降、休日18時以降のみんなのひろばの開閉を実験的に緩和し、“夜間閉鎖しない”管理を実験的に実施。

【期間】

・平成28年1月18日（月）夜間～1月25日（日）早朝（7日間）

【評価】

・毎朝、ひろば内及び周辺のゴミの状況や侵入形跡などをチェック。

【検証に結果】

- ・今回の検証期間は、冬季の影響もあり、夜間・早朝にひろばへの立入はほぼ無かったものと思われ、ゴミや設備が荒らされる事象は発生しなかった。
- ・管理労力の削減も期待されることから、引き続き、管理の簡素化に向けた検証が必要。

NO	項目
ひろば内	
1	芝生などが荒らされていないか
2	設備が荒らされていないか
	<input type="checkbox"/> ベンチ
	<input type="checkbox"/> 机
	<input type="checkbox"/> 噴水
	<input type="checkbox"/> 土管
	<input type="checkbox"/> ポンプ
	<input type="checkbox"/> サイン
	<input type="checkbox"/> 花壇等
3	ゴミの放置が検証前と比べて増えていないか
4	落書きなどがいないか（周辺の壁面を含む）
5	その他、利用された形跡がないか
ひろば周辺	
6	周辺が荒らされていないか
7	ゴミの放置が検証前と比べて増えていないか
8	落書きなどがいないか
9	その他、異常はないか

3.8 次年度に向けた占有使用等の基準・ルールの見直し

・次回運営委員会にて、占有使用に関する基準・ルールの見直しについて議論を予定。

(1) 占有使用料金の徴取について

(2) 営利活動（販売行為等）の許可について

(3) その他検討事項

○夜間の開放を含めたひろばの常時開放の検討

○その他、観光やビジネスなど利用者のニーズを取り込んだ運営方法の検討 など

4. 総括

【社会実験の内容・目的】

- ①まちなかの低未利用地や空き店舗を転用し、広場や交流スペースの整備を行う。
- ②まちなかの回遊性を高めるプログラムを実施する。
- ③持続可能な維持管理・運営の仕組みを試行する。



・まちなかの活性化および賑わい再生に向けた効果的な仕組みを検証するとともに、中心市街地における居住環境改善等について検証する。

	得られた効果	今後の課題
①施設整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか周辺に関わる子ども」にとっての『遊び場』 ・「来街者」にとっての『滞留空間、回遊のための間接点』となり、 『憩いの空間』を創出することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・僅かではあるが、従前の駐車場の方が良かったとする声も残っている。
②WSやイベントなどのプログラム実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街に少ない「ひろば空間を活用したイベント（お化け屋敷やプールなど）」ができ、まちなか空間の新しい可能性を検証できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「事務局主導」のものが多く、周辺店舗等を巻き込んだ活動には至っていない。 *使用について販売行為等が禁止されていたことなどが理由と思われる。
③施設の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・大型本棚の設置などにより、交流スペースの在り方を検証・実証できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばの常時開放の検証などによる持続可能な運営手法を模索していたが、特に施設の管理について、自立した運営手法の確立には至っていない。
④まちなかの営業活動や居住環境への影響について	<p>(店舗・住民共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDCMとひろばができたことに対しては良い意見が多く、認知が進み、パンフレット等で活動の周知を図ったこともあり、時間の経過とともに好意的な意見が増えてきている。 <p>(店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人通り」、「客層」、「地域イメージ」等の直接的な変化は顕著。 <p>(住民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの「治安」や「魅力」等の定性的な影響は顕著。 	<p>(店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか周辺店舗全体や商店街に対する影響は顕著ではない。 <p>(住民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外出頻度」、「滞在時間」など居住者の行動に大きく影響を及ぼしているとはいえない。
⑤まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度も高く、施設ができたことに対しても好意的な意見が多いことも踏まえると、施設等の整備による一定の成果が出ているといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方で、恒常的な賑わい創出や住環境等への波及的な効果は顕在化していない。 ⇒引き続き調査を続けるとともに新たな手法を試行しながら、 中長期的な効果を検証する必要がある。